

③「支援学校卒業後も安心して生活できる環境を作るための支援体制を在学生のうちに（高等部以前から）整えておくことが必要」について

WG	第6回 第7回	日時	第6回:令和 3年 6月 1日(火) 10:00~12:00 第7回:令和 3年 7月15日(木) 10:00~12:00
場所	リモート	参加者	

主な協議内容・方向性

(第1回こども部会で挙げた意見から)

このWGでは障がい種別ごとの課題まで深めていくのか？

結 論

- ・障がい種別ごとの課題までは検討しない。
- ・このWGでは教育と福祉の連携について、特別支援学校、その中でも身体障がいに絞って進めていく。

主な意見

- ・障がい種別にわけて課題を検討するにはWGだけでは進まない。
 - ・明確に障がい種別で課題はわけられない。
 - ・障がい種別ごとの課題はこども部会で検討することか？どこか他に検討の場がないか？部会は『協議する場を協議』するという役割もあると思う。
 - ・今回の研修がうまくいったら他の障がい種別に広げていくか？
- ⇒今回でこのWGは終結としたい。
- *第7回WGでは教育からの貴重なご意見をいただきました。

研修(案)

- 目 的
- ・うまく進んだ事例を通して、教育と福祉が互いにできることや役割を知ること
 - ・グループワークを通して、顔の見える関係づくりに向け、一歩踏み出すこと

- 概 要
- ・日時:令和3年11月13日(土) 10:00~12:00
 - ・方法:オンライン開催

対 象 者 放課後等デイサービス職員・特別支援学校教員

- 内 容
- ・発表者…放課後等デイサービス事業所・特別支援学校教員
 - ・同一事例Aさんに関し、福祉と教育の双方から連携について発表する。
 - ・事例では『寄宿舍』に関する内容がある。以前行った放課後等デイサービス事業所へのアンケートで寄宿舍に関する質問が複数あったため、質疑応答の時間を取る。
 - ・研修後半は顔の見える関係づくりをねらい、少人数5名までのグループワークを行う。